

エージェントの IP Phone の Calling Line Identification (CLI) は CVP_10_0_1_0_0_0_490 として示します

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[条件](#)

[解決策](#)

概要

この資料はエージェントの IP Phone のための望ましい CLI を設定 するためにステップを記述したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified Customer Voice Portal (CVP) 広範囲のコールフロー
- Intelligent Contact Management (ICM) スクリプトを書くこと
- Expanded Call Context (ECC) 変数

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は CVP 10.0(1) に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

問題

エージェントの IP Phone の CLI は CVP_10_0_1_0_0_0_490 として示します。

条件

CVP 広範囲のコールフローでは、コールがゲートウェイを見つけ、CVP サバイバビリティを適用してもらうダイヤルピアを一致する時。

解決策

CVP 8.0(1) から始まって、好む何でもにエージェントの IP 電話に出かける表示名を読み込むオプションがあります。ECC 変数 `call.user.microapp.override_cli` はとりわけこのためにもたらされました。

エージェントへコールを送信する前にスクリプトを書く UCCE からの適切な値へのこの値の設定によって好むものは何でもスキルグループノードに、UCCE スクリプトでまた利用可能の変数である顧客の ANI を含む呼び出し ID をに設定できます、並べて下さい。

注意： ECC 変数リストのこの変数を追加した後、VRU PG をリサイクルすることを忘れないで下さい。